

## 第2回 (仮称) 潟東地域コミュニティセンター※整備事業に関する地域と行政との協議概要

※以下「潟東コミセン」と表記します

～ 平成29年8月 3日ホームページ掲載 ～

■日 時：平成29年3月23日（木）午後6時～7時30分

■会 場：潟東地区公民館2階 視聴覚室兼会議室

■出席者：

※順不同

(地域側) 潟東地域コミュニティ協議会会長、同協議会副会長2名、同協議会事務局長、同協議会防犯・安全部会長、青少年育成協議会会長、認定農業者会代表、潟東小学校地域教育コーディネーター、潟東地区体育施設統括施設長

(行政側) 西蒲区役所：地域課長、同課長補佐、産業観光課長、健康福祉課長補佐、総務課長補佐、潟東出張所長、教育委員会：巻地区公民館長、潟東地区公民館長、財務部：財産活用課財産経営推進室長、建築部：公共建築第1課長補佐、他職員7名

■欠席者：かたひがし女性ネットワーク会長、潟東地区民生児童委員連絡協議会会長

■傍聴者数：6名

■次第：1. 開会  
2. 第1回のふりかえり  
3. 意見交換  
4. 閉会

■意見交換 内容：

(1) 第1回のふりかえり

◎第1回会議で説明した会議の進め方、実行計画の概要、潟東コミセン整備事業のコンセプト、整備事業に係る関連施設の機能移転とコミセンで想定される活動・利用内容に関する意見交換について、地域課から確認を行いました。

(2) 意見交換

◎配布資料「潟東地域コミュニティセンターに必要な機能整理シート（案）」を使用して、予めシートに記載した想定される各活動の頻度や人数などからそれぞれの「候補となる場所」を挙げ、その中から潟東コミセンで行うものを抜き出し、必要な室や設備などを整理したうえで優先順位を話し合いました。

◎地域側からの主な意見・要望は下記のとおりです。

- ・想定される活動の多くは多目的ホールを使用場所として想定しており、収容人数は100人程度、室内は利用人数に応じて仕切りによって分割可能とし、エアロビなどのスポーツ活動をはじめ会議、講演会など幅広い用途で利用できるようプロジェクター、スクリーン、音響設備、壁面の鏡などの機能が必

要。また、体育館アリーナとの一体的な利用が可能であればより効果的な活動が可能と思われる。

- ・調理室に関して「高齢者配食サービス」、「栄養教室」、「調理研修」の活動において必要な調理台7台と「カモねぎ祭り」、「お祭り広場」等のイベントや災害時の炊出しに備えた回転釜の設置を要望。また、打ち合わせ等に使用する和室が必要。
  - ・全体的に見て物置や収納スペースが不足しているため設置を要望。
  - ・屋外でのお祭り広場のステージの位置に関連して、増設部分をどこに建設するのか現時点での見通しを聞かせてほしい。
- ◎これに対し行政側は、多目的ホールは体育館との一体的な利用を視野に入れて建物の接続方法を検討、調理室については調理台を7台設置すると調理室の面積は約90㎡となる。これと回転釜のスペース、和室を加えるとコミセン全体の想定面積の400㎡の多くを占めてしまうため、和室に関しては他の室への代替可能性を検討し、回転釜は現在の固定式にとらわれず移動式のものなど他のタイプを今後提案していくと回答しました。また、屋外についてはイベント、災害時の避難所としての機能等を視野に入れて動線や必要となるスペースを検討し、基本設計の中で位置決めをすることになると回答しました。
- ◎なお、活動の中で、「陶芸体験」、「味噌づくり」はコミセンへの機能移転は行わないとのことで確認をしました。
- ◎最後に行政側から今回の協議で出していただいた意見を参考に平成29年度の基本設計に入りますが、その過程において引き続き地域の皆さまからのご意見を伺う場面も想定しており、今後ともご協力いただくことを説明しました。